

(様式2)

令和5年度 田主丸小学校地域学校協議会プラン

1 学校の課題

- 提言① 学力の保障と向上の課題を解決するために、「がんばりカード」を生かした家庭学習習慣の定着と補充学習「田主丸タイム」の内容と方法の充実を図る。
- 提言② 基本的な生活習慣確率のために、早寝・スローメディアの取組を行う。

2 提言の実働化に向けた具体的な取組(3者協働の場合)

具 体 的 な 取 組			
	学 校	家 庭	地 域
提言①	○児童の学力の実態と課題や取組を家庭や地域に説明する。 ○補充学習の場として田主丸タイムを設定し、地域ボランティアを募る。 ○家庭学習・生活「がんばりカード」週間を年5回設定し、PTA 学級委員会と連携を図り、集約して取組結果を知らせる。	○家庭学習強化週間の取組に協力し、「意欲付けのための声をかける」「テレビを消す等集中して取り組める環境を作る」を実行する。 ○チェックシートに子どものがんばりを認めるコメントや評価を書く。	○学力の保障と向上についての課題を知り、読書ボランティア等朝の活動等の協力体制整備に協力する。 ○田主丸タイムに学習ボランティアとして参加し、低学年の学習サポート(児童のプリントの採点等)を行う。
提言②	○ゲームやスマホの使い方、インターネットの正しい利用について、発達段階に応じて学級指導を行う。 ○スローメディア・ノーメディア・早寝の期間を年間5回設定し、子どもに目標を持たせて取組ませ、賞賛して学級全体に広げたり、学級懇談会で成果を取り上げたりする。	○「がんばりカード」の週は、スローメディア習慣(水曜日はノーメディア)として、家庭で取り組む。 ○「ゲームやスマホの使い方・早寝の約束を家庭で話し合い、見守る」の取組強化週間を生かし、日常から意識して声をかける。	/

※学校、家庭の2者協働の場合は、「地域」の欄に斜線を引く。

3 児童生徒の成長

〈年度初め〉	〈年度末〉
① 「がんばりカード」での家庭学習の取組で家庭学習習慣が身についた」児童の割合:58.7%	① 「家庭学習ががんばり週間の取組で家庭学習習慣が身についた」児童の割合:70%
② ゲームやスマホの使い方のルールを家庭で決め、守ることができている」児童の割合63.7%	② ゲームやスマホの使い方のルールを家庭で決め、守ることができている」児童の割合:70%

(様式2)

令和5年度 ○○学校地域学校協議会プラン (記入例)

1 学校の課題

提言① 家庭学習習慣の定着・強化のために、「家庭学習強化週間」を設定したり、地域ボランティアによる放課後学習を行ったりする。
提言② メディアの使用時間を適切にするために、「スローメディア週間」を設定して「家族団らんタイム」を増やす取組を行う。

2 提言の実働化に向けた具体的な取組(三者協働の場合)

具体的な取組			
	学 校	家 庭	地 域
提言①	○児童の学力の実態と課題を家庭や地域に説明する。 ○放課後学習の場を設定する。 ○家庭学習強化週間を設定する。 ○適切な量と質の家庭学習の課題を出す。	○家庭での学習を行うような促しの声かけと学習課題を終えた後の賞賛を行う。 ○チェックシートにコメントや評価を書く。	○学力の保障と向上についての課題解決を図る必要性を広報する。 ○放課後学習への地域ボランティアの募集や派遣を行う。
提言②	○スローメディアの期間を設定する。 ○スローメディアの取組の結果を集約し、家庭・地域に知らせる。	○テレビを消すなど、家庭で学習する環境を整える。 ○スローメディア期間において積極的に家族団らんの時間をつくる。	

※学校、家庭の二者協働の場合は、「地域」の欄に斜線を引く。

3 児童生徒の成長

